



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821  
FAX0985(38)5028

新しい生活様式に対応した

## 働き方改革を推進 年頭にあたりご挨拶申し上げます



新年明けましておめでとうございます  
本年も宮崎労働局をよろしくお願います

皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。ただ、残念ながら昨年来の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、新年のめでたさを少なからず減じています。昨年1月に日本で初めて感染者が確認され、世界各国に比べれば感染状況は抑制気味ですが、現在も感染が拡大しています。

このように昨年皆様にとっても労働行政にとっても特

別な1年となりました。経済情勢の悪化で雇用不安が高まる一方、感染拡大防止の観点からテレワーク導入の動きが顕著になるなど雇用情勢や働き方にも大きな変化が生まれました。

その対策の一つとして雇用調整助成金を拡充し、宮崎労働局でも11月末時点で9千件超、延べにして14万人を超える労働者の雇用維持を支援したほか、テレワークを導入する事業主への支援も展開したところです。また、昨年6月3日には雇用の安定と企業活動の再始動に向けた連携強化を謳う緊急共同宣言を県内政労使



名田労働局長

のリーダーとともに発出しました。

新年におきましても行政機関として感染防止策に万全を期しながら、新型コロナの影響で離職した方への再就職支援や雇用維持を図る事業主への支援、「新しい生活様式」にも対応した働き方改革の推進に取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

ハラスメント  
防止対策で

## 風通しの良い職場に



説明会に延べ約220事業場が参加

つ延岡会場での様子(右)パワハラに  
ついて説明する大嶋紛争調整官(丸)



雇用環境・均等室は12月9、16、23日に延岡市、都城市、宮崎市で「職場におけるハラスメントの防止対策等に関する説明会」を実施しました。近年ハラスメントに関する相談が増加する中、厚生労働省では12月を「職場のハラスメント撲滅月間」と定め、その一環として開催したものです。コロナ禍の開催でしたが計県内約220事業場、約290人の代表者や労務担当者等が参加しました。

説明会ではセクハラ・マタハラ・パワハラなどに関し、労働局に多く

寄せられている①会社が相談に応じたくない②上司からラインでデートに誘われた③相談できても「あなたに問題があるんじゃないの」と言われた、などの事例を紹介。これに対し担当者は「きちんと対応しないと会社に対し不信感が生じます。風通しの良い職場を作るために、まず相談窓口の設置を周知しましょう。さらに相談窓口担当者スキルアップのための研修なども必要です」と防止対策と発生後の対処方法などについて具体的に説明。併せて改正パートタイム・有期雇用労働法、各種助成金についても説明しました。

ハラスメントはあらゆる職場で発生する身近な問題であり、発生した場合の職場環境に与える影響も大きいため、参加者も熱心に説明を聞いていました。



宮崎労働局長  
表彰  
受彰おめでとうございます



川野先生(右) 名田局長(左)

12月2日、令和2年度労働行政関係功労者宮崎労働局長表彰が宮崎労働局で行われました。受賞したのは平成26年6月から宮崎労災保険診療費審査委員として労働行政に貢献された「まつばし川野整形外科」の川野啓一郎先生です。

川野先生は労災診療費の審査において、その経験を生かした的確な判断力と様々な質問にも丁寧に応じていただくなど、職員も全幅の信頼を寄せています。川野先生の今後益々のご活躍を祈念いたします。



